

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	行旅人処置事業	会計名称	一般会計		担当課	福祉課	
		予算科目	3 款 1 項 1 目	事業番号	880	所属長名	米湊明弘
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	松田智樹	
法令根拠等	行旅病人及行旅死亡人取扱法				実施期間	【開始】	令和 / 平成 18 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
	心の通った社会福祉の推進						
総合計画における本事業の役割	旅行中の人、移動中の人、漂泊中の人等が病気担った時、死亡した場合に、行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づく本市の責務を全うするものである。						
事業の対象	行旅病人・行旅死亡人・行旅人		事業の目的	行旅病人・行旅死亡人・行旅人への対応			
事業の内容（整備内容）	行旅死亡人の火葬・埋葬や行旅人への隣市までの交通費の支給を行う。		評価事業としないこととした理由	行旅人・行旅死亡人取扱法の位置づけであり、対象者が限られているため。			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
財源内訳	直接事業費	3	305	0	0	0	1	行旅人対応件数	人	6	5	0	1
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	0	0	0	0	0	0	行旅死亡人対応件数	人	0	1	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	1	0	0	0	0						
	一般財源	3	304	0	0	0	1						
職員の人工（にんく）数		0.13	0.13				0.13						
1人当たりの人件費単価		7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費＋人件費		1,022	1,318				1,014						
主な実施主体				実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計		
						306	306	306	306	306	1,530		

事務事業評価（CHECK）

自己判定（担当責任者）	事業の成果	適切な面接等を実施し、適正な事務執行に努めた。また、状況に応じて福祉まると相談窓口や生活困窮者自立支援事業と連携して対応できる体制とした。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	法令により市が実施すべき事業と定められており、今後も継続していく必要がある。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	